

2022年11月27日(日)

日本キリスト教団 **久宝教会**
第65巻第33号(通算3315号)
教会設立 1959年6月14日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:00-10:20 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう
週報

教会標語

かみさま **神様がすべての人と共に** おられる
ことを証ししていく **教会**

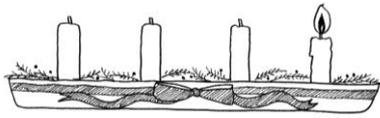


ホームページ「久宝教会」
(ウェブサイト)

<http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai>
【連絡先(牛田)】090-9161-4027

kyuho-church@koinonia.or.jp

谷はすべて埋められ、山と丘はみな低くされる。曲がった道はまっすぐに、
でこぼこの道は平らになり、人はみな神の救いを見る。(ルカによる福音書3:5-6)



たいこうせつ だい しゅうじつれいはい あいじしゆくふくげっかん
待降節 第1主日礼拝 (愛児祝福月間)

《礼拝はインターネットで中継配信いたします。ホームページにてどなたでも
ご視聴いただけますので、それぞれの場所で共に礼拝をしていただけます》

ぜん そ う (もくとう) AVE VERUM CORPUS (©著作権消滅)
招きの詞 エレミヤ書 33章 14-15節

賛美歌 242番「主を待ち望むアドヴェント」(1節) (©JASRAC)
クランツ点灯のことば 点灯者
聖書 ヤコブの手紙 5章 1-11節

お祈り
賛美歌 21-241番「来たりたまえわれらの主よ」(©著作権消滅)

メッセージ「物に頼るでもなく、人に頼るでもなく」牛田 匡 牧師

賛美歌 21-237番「聞け、荒野から」(©JASRAC)

主の祈り 21-62番「天にいます 私たちの父」(©教団讃美歌改訂委員会)

愛児祝福式(*) 牛田 匡 牧師

誕生者祝福式(**) 牛田 匡 牧師

献げ物(***)

派遣 21-91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ) (©JASRAC)

祝福 牛田 匡 牧師

後奏 アーメン コーラス (21-40-6番) (©著作権消滅)

報告 (4頁をご参照ください)

《お隣と間隔をあけて、席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

* みんなで出席された子どもたちに神様からの祝福をお祈りします

** みんなで11月生まれの方(と今年度11月までにお生まれの方)を祝福
いたします。ご遠慮なさらず、どなたでもお申し出ください。

*** 「献げ物(献金)」は、ご用意のある方のみ、お献げください。

招きの詞 エレミヤ書 33章 14-15節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

14 その日が来る——主の仰せ。私は、イスラエルの家とユダの家に語った恵みの約束を果たす。15 その日、その時、私はダビデのために正義の若枝を出させる。彼は公正と正義をこの地に行う。

クランツ点灯のことば

神様、今日から私たちはアドベント(待降節)、イエス様のお誕生を待ち望む季節を過ごそうとしています。どうぞ今年のクリスマス、みんなと一緒に心を込めてイエス様のお誕生をお祝いすることができますように。そのような願いを込めて、一本目のろうそくを灯します。どうぞ、イエス様が私たちのもとに来られますように。

聖書 ヤコブの手紙 5章 1-11節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

1 さて、富んでいる人たち、自分に降りかかる不幸を思って、泣き叫びなさい。2 あなたがたの富は朽ち果て、衣は虫が食い、3 金銀もさびてしまいます。このさびが、あなたがたを訴える証拠となり、あなたがたの肉を火のように食いつくすでしょう。あなたがたは、この終わりの日々でありながら、宝を蓄えたのです。4 見なさい。畑の刈り取りをした労働者にあなたがたが支払わなかった賃金が、叫び声を上げています。刈り入れをした人たちの叫びが、万軍の主の耳に届いています。5 あなたがたは、地上で贅沢に暮らし、快樂にふけり、屠られる日のために自分の心を肥やしたのです。6 あなたがたは正しい人を罪に定めて殺しました。その人は、あなたがたに抵抗していません。

7 それゆえ、きょうだいたち、^a主が来られる時まで忍耐しなさい。農夫は、秋の雨と春の雨が降るまで忍耐しながら、大地の尊い実りを待ちます。8 あなたがたも忍耐しなさい。心を強く保ちなさい。^b主が来られる時が近づいているからです。9 きょうだいたち、裁かれることがないように、互いに不平を言ってはなりません。見なさい、裁く方が戸口に立っておられます。10 きょうだいたち、主の名によって語った預言者たちを、苦難と忍耐の模範としなさい。11 私たちは忍耐した人たちを幸いな者とたたえます。あなたがたは、ヨブの忍耐について聞き、主がもたらした結末を知っています。主は憐れみに満ち、慈しみ深い方です。

(脚注 a : 直訳「主の来臨まで」、b : 直訳「主の来臨」)

《先週のメッセージより》2022年11月20日

メッセージ「正しい若枝」より

岡嶋千宙伝道師

聖書 エレミヤ書 23章1-6節

「災いあれ」(23:1)。国を統治し、国民を保護する責任のある王や国政の担い手たちに向けて神が放った言葉。「牧者」と呼ばれるその者たちは、自己の利益追求のために国民を虐げ、搾取し、殺害することすらあった(22:3, 13, 17)。神は、そんな牧者ではなく、その者たちによって「滅ぼされ」(23:1)「散らされ」(23:1-2)「追い払われ」「省みられなかった」(23:2)人々にこそ目を注ぐ。社会の中で弱くされ、力を奪われた人々を「私の民」「私の羊の群れ」(23:1-2)と呼ぶ神は、彼女らが「二度と恐れることなく、おののくことなく、失われることもない」(23:4)ように、新しい牧者を立てると約束する。その牧者、「正しい若枝」は、これまでの指導者たちとは異なり、この地に「公正と正義」(23:5)をもたらし、その若枝のもとで、人々は「安らかに暮らす」(23:6)ようになる。

弱くされた人たちの間に備えられるその若枝は、それ自体が弱き存在なのだろう。木の幹ではなくて「枝」であり、しかも「若い」のだから。その枝を備えるのは、神ご自身だけれども、その成長に関わるのは、神だけではない。そこには、人間の介在が求められ、一人ひとりが問いかけられている。正しい若枝を与えられるわたしたちが、どう生きていくのか。その枝と、その枝のもとで生きる他の人たちと、他の存在たちとどう関わり、生きていくのか。そして、その枝が根を下ろすこの土地、この地球、この世界とどう関わっていくのか。

「これが神の求める正しさだ」と言って、自分の思い描くあり方に固執することは、神の問いかけに応えることにはならない。むしろ、その問いを受けて、逆に、あるいは、さらに「正しさ」とは何か、「公正さ」とは何かを問うていく。今ある正しさから漏れている人はいないだろうか。人が一時的に打ち立てた「公正さ」によって、傷つき苦しむ人はいないだろうか。もちろん、一人ひとりに、自分なりの生きる場があって、その場を生きやすいものにするには咎められることではない。でも、その場だけを何とかしようとするほど、それ以外が見えなくなってしまう。今、この場を精一杯に生きるそのあり方が、他の場所、他の時に生きる誰かを傷つけているかもしれない。その人たちの生活を、命を蝕んでいるかもしれない。だから、時に立ち止まり、自分の生きる場から離れ、見回してみる。耳を傾けてみる。肌で感じてみる。消されようとする声、蔑ろにされそうになっている命、忘れられようとしている痛み。忘れない。忘れてはならない。神によって備えられる正しい若枝が、これからも正しい存在として、わたしたちの間に、この地に、公正と正義をもたらし続けていくために。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

YouTube



Facebook



LINE 公式アカウント



◎ 先週の報告 11月20日

主日礼拝出席 大人6名 子ども1名 中継動画再生数 9回
 献金 大人7,000円 こども1,000円 感謝
 服部墓地納骨式(墓前礼拝) 出席15名



◎ 次週 2022年12月4日(日) ^{アドベント} 待降節第2主日礼拝

招きの詞 イザヤ書 55章9節

聖書 ルカによる福音書 4章14-22節

メッセージ 「パスポートはあなたの手の中に」 牛田匡牧師

賛美歌 21-242番(©JASRAC)、21-231番(©改訂委)、21-244番(©JASRAC)

クリスマスを待ち望む「待降節(アドベント)」に入り、毎週の礼拝の中でアドベント・クランツのろうそくに、一本ずつ火が灯されていきます。また礼拝の中でユーカリストを行います。礼拝はインターネットで中継いたします。

礼拝後に、11・12月期の「教会を考える会」を行う予定です。

◎ お知らせ

- ・本日の礼拝後に、釜ヶ崎・いこい食堂支援のための「おにぎり作り」を行います。どなたでもどうぞご参加ください。
- ・新型コロナウイルス感染症の流行が続き、大阪府の新型コロナウイルス警戒信号は「黄色」になっています。ご自身の感染予防のためにも、他人に感染させないためにも、教会堂に集まる形での礼拝にこだわらず、インターネットの中継配信を利用したご在宅での礼拝など、それぞれの方が参加しやすい形で礼拝にご参加ください。「週報」や「メッセージ(全文)」はホームページからダウンロードしていただくことができます。中継録画のメッセージ部分のみをカットした動画を、YouTubeでご覧頂くことも可能です。
- ・本日より今年度の「クリスマス献金」を集め始めます。献金先は、次週の「教会を考える会」で確定します。
- ・12月3日(土)に関西セミナーハウスにて、「生と性を考える」学習会が開催されます。ZOOMを利用したオンライン参加も可能です。参加申し込みは、11月30日(水)までに申してください。 <http://www.academy-kansai.org>

◎ 次週以降の行事予定

| | メッセージ | 行事 |
|-------|-------|---|
| 12/4 | 牛田牧師 | 第2アドベント礼拝 ユーカリスト・教会を考える会 |
| 12/11 | 水谷牧師 | 第3アドベント礼拝 (第二好意の庭クリスマス会・牛田牧師) |
| 12/18 | 岡嶋伝道師 | 第4アドベント礼拝・聖書を読む会? |
| 12/25 | 牛田牧師 | クリスマス礼拝・誕生者祝福式 (前日24日にお弁当支援をするため、教会でのおにぎり支援はありません) |

2022年度 修学院フォーラム「社会」第4回 日本クリスチャン・アカデミー
関西セミナーハウス活動センター

会場とリモート(ZOOM)

性と生を考える ーキア神学の視点から

講師 堀江 有里 (信仰とセクシュアリティを考えるキリスト者の会(ECQA)代表)

2000年代に入ってから、日本においても性の多様性が広く認識され、さまざまな施策もかたちづくられてきました。2015年から東京都渋谷区・世田谷区を皮切りに、同性パートナーシップを認定する行政サービスも全国で広がっています。性的マイノリティの存在は可視化しつつあります。しかし、他方では、バックラッシュの流れも生み出され、ますます性的マイノリティの間の格差が大きくなっているのも現実です。

キリスト教の世界では性の多様性はどのようにとらえられてきたのでしょうか。性の「あたりまえ」を問うキア神学の思想と実践をご紹介します。性的マイノリティの相談業務に従事してきた立場から、日本社会と教会のあり方を一緒に考えたいと思います。

日時 2022年 **12月3日(土)** 13:30 ~ 15:50

参加方法 関西セミナーハウス来場 または、リモート参加

参加費 来館/リモート共通 1,500円 学生500円 [リモートの方は税込で、(税込先着順)]

◎講師は、会場 で講演し、話し合いに参加します。参加者は、次のいずれかの方法で参加できます。
 [来館参加] 関西セミナーハウスの会場に集まり、講演を聞き、話し合いに参加します。
 [リモート参加] パソコンかスマートフォンなどを利用して、任意の場所でネットを通して参加することができます。申し込みの際にメールアドレスをお知らせください。メールアドレスにてZoomの接続状況をお知らせします。

堀江 有里 ほりえ ゆり
 信仰とセクシュアリティを考えるキリスト者の会(ECQA)代表
 同志社大学大学院神学研究科歴史神学専攻修士課程(前期)修了。大阪大学大学院人間科学研究科博士後期課程修了。博士(人間科学)。現在、日本基督教団牧師(京都教区巡回牧師)、公益財団法人世界人権問題研究センター専任研究員、関西学院大学ほか非常勤講師。
 専門領域は社会学、ジェンダー論、キア神学。2014年より性的マイノリティの相談業務に従事。
 著書『レスビアン・アイデンティティーズ』(徳川出版)、『レスビアン』という生き方ーキリスト教の異性愛主義を問う(新教出版社)ほか。

申し込み 11月30日(木)までにWEBで申し込みフォーム、FAX(裏面)、電子メール、電話等でお申し込みください。